

平成25年度 生理学研究所研究会
「シナプス・神経ネットワークの機能ダイナミクス」

日時:平成 25 年 12 月 12 日(木)～13 日(金)
場所:生理学研究所(明大寺地区)1 階大会議室
代表者:神谷温之 (北海道大学)、渡邊 大 (京都大学)
所内対応者:吉村由美子 (生理学研究所)

12 月 12 日(木)

1:00 はじめに 神谷温之 (北海道大学)

セッション1 (座長 桂林秀太郎 (福岡大学))

1:05 川口真也、坂場武史 (同志社大学)

「プルキンエ細胞軸索終末の直接パッチクランプ記録による機能解析」

1:30 Delvendahl I (University of Leipzig)

TBA

1:55 三木崇史、平井宏和、高橋智幸 (同志社大学、群馬大学)

「Activity-dependent neurotrophin signaling underlies developmental switch of Ca^{2+} channel subtypes mediating neurotransmitter release」

2:20 コーヒーブレイク 15 分

セッション2 (座長 喜多村和郎 (東京大学))

2:35 長谷川翔、富永恵子、小倉明彦 (大阪大学)

「繰り返し LTD 誘発後の長期持続的シナプス減弱 (LOSS) 生起時の樹状突起棘の動態」

3:00 鈴木江津子、神谷温之 (北海道大学)

「Kainate receptor-mediated modulation of network activity in the hippocampus」

3:25 安部健太郎 (京都大学)

「鳴禽類音声コミュニケーション能力の生後発達機構」

3:50 コーヒーブレイク 15 分

4:05 **特別講演1** (座長 渡邊大 (京都大学))

榎本和生 (東京大学、OBI)

「Local calcium signaling in spatio-temporal regulation of neuronal remodeling」

4:50 **特別講演2** (座長 吉村由美子 (生理研))

村越秀治 (生理研)

「神経細胞内シグナル伝達分子の活性化観察・操作」

5:35 **特別講演3** (座長 神谷温之 (北海道大学))

林 康紀 (理研 BSI)

「CaMKII: a bifunctional molecule both as a kinase and as a postsynaptic structural element gating synaptic plasticity.」

終了後 懇親会 (生理研 1 階セミナー室 AB)

12月13日(金)

セッション3 (座長 橋本浩一 (広島大学))

9:30 飯塚 朗、松崎泰教、今野 歩、平井宏和 (群馬大学)

「*Staggerer* マウスにおけるプルキンエ細胞の mGluR を介した応答は発達期の ROR α を必要とする」

9:55 川田慎也 (東京大学)

「生後発達期の小脳登上線維刈り込みにおける各線維の絶対的な入力強度の役割」

10:20 田中進介、川口真也、平野丈夫 (京都大学)

「小脳抑制性シナプス可塑性 RP の運動学習への関与」

10:45 コーヒーブレイク 15 分

セッション4 (座長 小松由紀夫 (名古屋大学))

11:00 山口和彦 (理研 BSI)

「受容体側方拡散の小脳プルキンエ細胞シナプスにおける AMPA 受容体トラフィッキングへの寄与」

11:25 八尾 寛、本城達也、姫 志剛、横山超一、石塚 徹 (東北大学)

「オプトジェネティクスを利用したラットウィスカ光刺激パターンニング」

11:50 遠藤利朗 (名古屋大学)

「Substance P activates nonselective cation channels in nNOS-expressing GABAergic neurons in mouse visual cortex」

12:15 おわりに 渡邊 大 (京都大学)